



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2021年11月23日 No.381

2021年度年末手当 妥結

私たち東日本ユニオンは「2021年度年末手当」において、0.8ヶ月分の追加支給の申し入れを含めて4度にわたり経営側と団体交渉を行いました。経営側は「2.0ヶ月が最終回答である」との姿勢を崩さず、これ以上の進展がはかれないと判断し、11月16日に妥結しました。

昇給係数「2」のもとでの期末手当を忘れない！

通期の業績予想も「赤字」に下方修正するなど「極めて厳しい経営状況にある」とした中で下半期がスタートしています。

9月末に「緊急事態宣言」等が解除されて以降、仕事を通じて「徐々にお客さまのご利用が戻られつつある」と感じられるようになり、11月9日発表の「10月期・鉄道営業収入」でも対前年度比で106%（前々年比78.6%）と、業績が回復傾向にあることを数字からも見るすることができます。

今年度の期末手当（夏・冬のボーナス）実績の「年間4.0ヶ月」は、会社発足以来最低を記録しただけでなく、今春の賃金改定において昇給係数を「2」とした中での最低実績であったことを私たちは忘れません。

東日本ユニオンは、引き続き業績回復の実現に向けて努力していくとともに、現場第一線で奮闘しているJR労働者に対する正当な賃金と納得できる手当を求めています。

ムダ遣いは許しません！

職場から企業活動をチェックしていきます



私たち東日本ユニオンは、会社を持続的に発展させるための「成長投資」は肯定していますが、同時に「賃金・手当の削減だけに依存したコストコントロールは認められない」ことを主張しています。

労働組合には「企業活動のチェック機能をはたす役割」がありますが、昨年度からは全組合員による「企業活動の点検行動」をより一層強化し、各支社に対して是正や提言の申し入れを行ってきました。ある地方では「温泉での現場長会議」の開催計画が明らかになり「赤字下において温泉で現場長会議を開催する必要があるのか」と、会社に問題提起を行っています。

「本当に今、必要なことなのか」「黒字下と同じ意識で運営されていないか」などの問題意識を持って、引き続き「企業活動の点検行動」を強化していきましょう。

私たちと一緒に不安や不満を解消していこう！

社員の生活や将来、今ある業務に対する不安や不満は「安全」に直結します。私たち東日本ユニオンは賃金・手当をはじめ、会社施策に向き合って、働く者の生活の安定を土台とした「健康、安全、ゆとり、働きやすさ」を追求しています。一人で悩まず、ぜひ、私たち東日本ユニオンにご相談ください。

私たちは働く者の立場に立って、組合員と一緒に不安や不満の解消に向けて取り組みます！